

枕崎市地域公共交通活性化協議会 令和7年度第2回会議 議事要旨

令和7年8月4日（月）午後3時30分

Camping Office osoto Makurazaki

【出席者】 委員30名中23名の出席あり

【内 容】

1 開会

2 会長あいさつ

枕崎市長よりあいさつ

3 協議

(1)委員の交代について

質疑なし、承認

(2)令和7年度下半期の予約型乗合タクシーの実証計画について

委員	金山地区以外での周知が不足しているのではないかと。高齢者は広報紙やチラシを見ないことも多い。病院での案内など、きめ細やかなターゲット周知が必要。
事務局	実証開始2ヶ月前から広報を強化する。病院や商業施設の掲示板、民生委員を通じた案内、集落での説明会、防災行政無線での放送などを実施する。また、タクシー乗車時に運転手から直接案内してもらい取り組みも強化したい。チラシは具体的な利用シーンや予約手順をわかりやすく明記する。
委員	郊外から市街地へ行く場合、降車できるのはミーティングポイントのみという理解でよいか？また、郊外にミーティングポイントを設定している理由は？
事務局	ご認識の通り、市街地ではミーティングポイントでのみ乗降可能。なお、一部のスーパーや病院は「市街地区域の境界外」にあるため、郊外のミーティングポイントとして設定している。
委員	郊外の集落間を移動したいという住民ニーズはないのか？
事務局	現時点では特段要望は届いていない。アンケート等は引き続き実施してニーズを拾っていく。
委員	郊外を8:30に出発して、枕崎駅9:15発のバスに乗り継ぐことは時間的に可能か。

事務局	乗り継ぎについては、最も遠い地区からでも 15 分程度で到達するため、十分間に合う想定である。
委員	バスもタクシーも運転手不足が深刻な中、既存路線バスと競合しない時間設定などの棲み分けは評価できる。市内の移動がうまく確保できる形になるよう、利用状況を見ながら進めてほしい。

(3)その他

委員	鹿児島空港と枕崎駅を結ぶ直行バスが廃止され、帰省者や高齢者にとって非常に不便になっている。航空会社等と連携してマッチングを行うなど、新たな体制構築の進捗はないか。
事務局	現状の代替措置として、鹿児島中央駅や加世田での乗り継ぎ（スーパー特急等）を案内している。直行便の復活や新たなマッチングの仕組みについては、現時点で具体的にお答えできる進展はない状況である。

4 閉会